

32 ズッキーニ

地域慣行基準

【化学肥料】

| 区 分 | 窒素成分量 【kg/10a】 | 備 考 |
|------|-------------------|-----|
| 県下全域 | 20 | |

※前年秋に有機物の腐熟度促進のため、石灰窒素などの窒素を含有する肥料を施用した場合は窒素成分で4kg/10aを上限に、施用した窒素成分を地域慣行基準に加えるものとする。

(1) 特徴及び吸収特性

窒素成分施用量の地域慣行基準は20kg/10aである。ズッキーニは生育旺盛で吸肥力も強いため窒素過多だと茎葉が繁りすぎ着果が少なくなる。一方、**在圃期間が比較的長く収穫が連続するため肥効を維持することが必要**で、追肥と有機物の活用がポイントとなる。

追肥は窒素成分施用量の半量程度(10kg/10a)を2～3回に分け、開花期以降草勢をみながら施用するのが一般的である。有機物施用は土壌物理性の改善と肥効の安定に役立つ。ズッキーニは**湿害の影響を受けやすい**ため、有機物施用とともに排水性が劣る圃場では高畦栽培とする。

ズッキーニは収穫が中断なく続くため、収穫遅れとなりやすい。収穫遅れは株への負担が大きいため**肥培管理とともに適期収穫も重要**である。